

急速な進化を遂げる人工知能(AI)、ビッグデータの活用など
科学技術の高度化によるsociety5.0(超スマート社会)の到来を控える中、
将来の変化を予測することが困難な時代を迎えています。

このような加速度的に変化する新しい時代を生きる子どもたちには、
多様な他者との協働により、課題を見つけ、自ら考え行動し、
目標や未来をデザインする力が求められています。

芸術教育には、こうした力を培うヒントがあります。
作品との対話、作り手である自分自身との対話を通して、
芸術教育は自らの視点で物事をとらえ、主体的に考える力を高めます。

今年度の京都芸術教育コンソーシアム(Art-e Kyoto)フォーラムでは、
昨年度に引き続き、大学・小中学校の芸術教育の共同研究事例を発表します。

主体的・対話的で深い学びを実現するために、
子どもたち自身が芸術の素晴らしさ、多様性に気付くことのできる授業実践を、
連携校を中心に各校で進めています。

子どもたちは、いま何をどのように学ぶべきか。
その一つの回答として、京都の芸術教育の取組にご注目ください。

子どもたちは、いま何をどのように学ぶべきか
—— 芸術を通じた大学と小中学校の協働から、新たな学びのデザインを探る ——

開催日

平成31年1月21日(月) 18:00~20:30

会場

京都市総合教育センター 第1研修室

内容

① 18:00~18:50 基調講演

講師 東良 雅人 氏

文部科学省 初等中等教育局 視学官

1962年 京都市生まれ
1985年 大阪芸術大学美術学科卒業
1987年 京都市立中学校教員
2002年 京都市教育委員会指導主事
2011年 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官
2018年 文部科学省初等中等教育局視学官



② 19:00~20:30 研究発表

京都市立上京中学校 + 京都市立芸術大学

大学生と中学生が同じテーマをもとに、立体作品を制作。
対話型鑑賞のスタイルで合評会を行い、
主体的・対話的で深い学びを実践します。



京都市立近衛中学校 + 京都精華大学

芸術教育の可能性を求めて様々な試みが実施されるいま、
さらなる援用を可能にするために、
「美術とは何か」という問いへの答えを
制作作品を通じた対話から導くことを目指します。



主催

京都芸術教育コンソーシアム(Art-e Kyoto)
京都市立芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学、成安造形大学
京都市、京都市教育委員会、京都市図画工作教育研究会、京都市立中学校教育研究会美術部会

このまま FAX してください。
FAX: 075-231-3117

Art-e Kyoto フォーラム 参加申込書

_____年 _____月 _____日

ご所属		お名前	
ご連絡先 (電話番号・メールアドレス等)			

いただいた情報は本フォーラムの連絡目的以外には使用いたしません。

基調講演 18:00 - 18:50

■東良 雅人

文部科学省初等中等教育局視学官

研究発表 19:00 - 20:30

■京都市立上京中学校 + 京都市立芸術大学

■京都市立近衛中学校 + 京都精華大学

入場無料

参加にはお申込が必要です。

定員：先着 100 名

大学や学校の教職員、大学生、
児童・生徒の保護者など、幅広く
御参加をお待ちしております。

お申込方法

■メール

以下の内容でお送りください。

件名：「Art-e フォーラム参加申込」

本文：ご所属（学校名等）

お名前

宛先：gakkousidouka@edu.city.kyoto.jp

（学校指導課 佐々木宛）

■FAX

必要事項を記入の上、以下の番号宛に
送信してください。

075-231-3117

■締切 2019年1月16日（水）



■お問合せ

京都市教育委員会事務局 指導部 学校指導課 企画担当
〒604-8161 京都市中京区烏丸通三条下ル饅頭屋町 595-3
(大同生命京都ビル7階)

Tel 075-222-3851; Fax 075-231-3117;

e-mail gakkousidouka@edu.city.kyoto.jp